

岡本眸の春の句

手を洗ふ寒い櫻を見て戻り  
木立また人を隠しぬ春の暮  
白れんの壊れつづける無音界  
花過といふ曖昧を病むごとく  
思ひ出に長居しすぎし目借どき

松岡隆子 抽